

医療的ケア児を支える人たち



私は医療的ケア児とその家族が保健・医療・福祉・教育など多分野のサービスを円滑に利用できるよう調整する役割を担っています。目指すのは子どもたち一人一人の自分らしさが尊重される、安心して日々を過ごせる地域づくり。

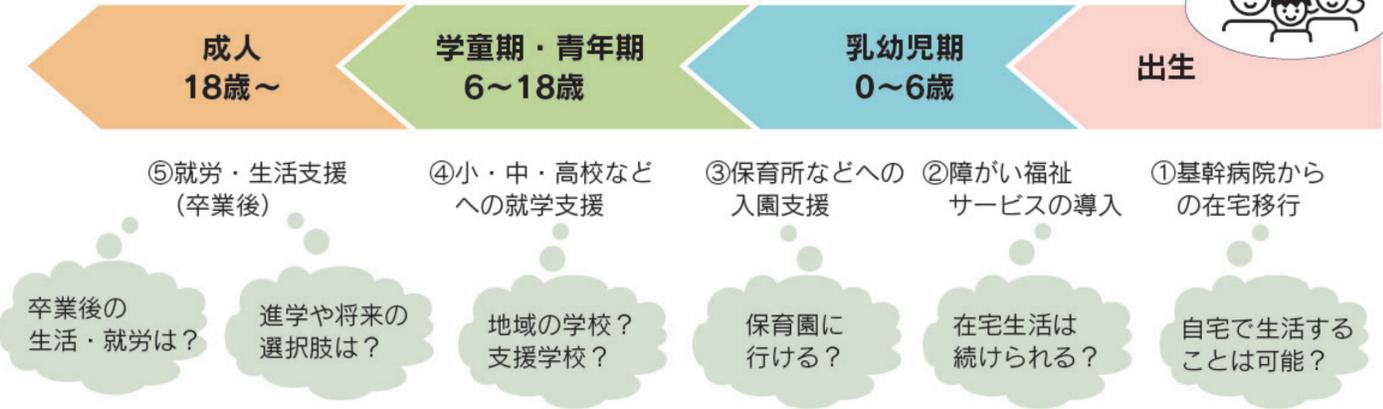
医療的ケア児の子育ては、相談先が限られ、支援のつながりが途切れやすいことが課題です。その中でも、私は地域と連携した支援体制づくりに取り組んでいきます。



児童発達支援センター「いまここ」
松田りかさん

voice

医療的ケア児等 コーディネーター



豊福保育園 主任保育士
宮原美香さん

当園の医療的ケア児保育は、約20年前に始まり、その後も看護師の確保や環境整備などの医療的ケア体制を整えてきました。

家族や関係機関、地域と連携し、誰もが笑顔で過ごせる環境づくりに努めます。

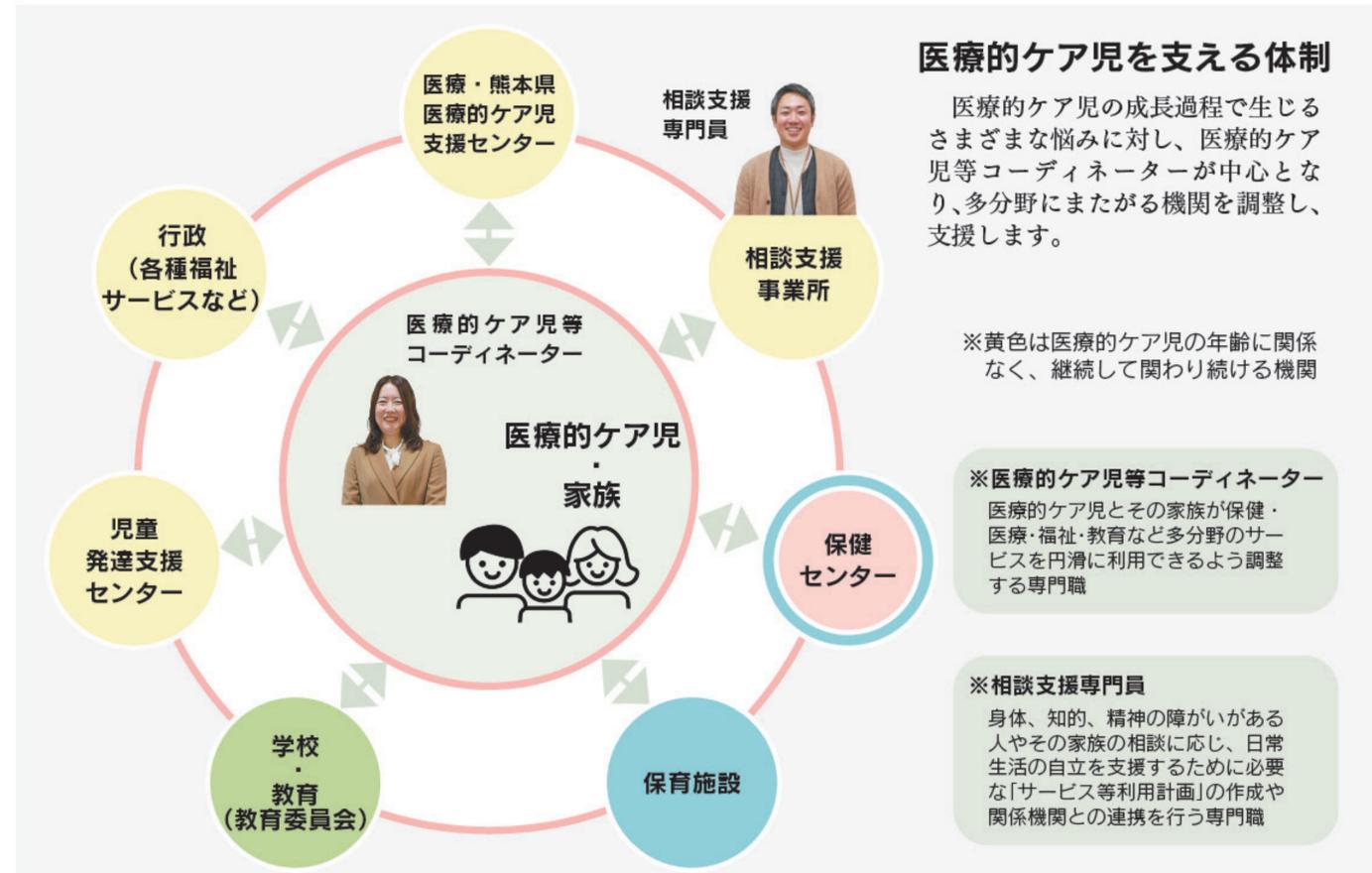


白梅幼稚園 園長
岡田とよこさん

voice

保育施設

医療的ケアが必要、また、重度の障がい児の子の入園希望があった時は、まず安心安全に受け入れることを考え、ご家庭と施設の不安をお互い少しずつ出し合い、安心して集団生活がスタートできるように配慮しています。



長船 枝穂さん

長船 龍馬さん

その手があれば、もっと安心できる 私たちが地域に願うこと

息子が生活するうえで専門医や行政の支援は不可欠ですが、日々の暮らしの中では地域の皆さんの存在が大きな支えとなります。

外出先や災害時など、いざという時にいつも医療従事者がそばにいるとは限りません。そんな時、周りの人の配慮が大きな助けになります。私のご近所の方は日頃から息子のことを気に掛けてくださり、「何かあったら私たちが守ります」と言ってくれて、その気持ちにとっても感謝しています。特別な知識がなくても大丈夫です。その「何気ない優しさ」が、私たち家族が安心して暮らしていくための何よりの力になります。

ご近所さんの声



中村 美空さん 内田 優美さん

お互いさまの意識を

長船さん家族が引っ越してきたときに龍馬くんのことについて伝えてもらいました。私たちも長船さんの家の広場で、子どもたちを遊ばせてもらっていて、助けられています。お互いさまですね。

お互い子を持つご近所同士、長船さん家族が困った時はできる限り手助けしたいと考えています。

市では、令和7年4月に設置した医療的ケア児地域支援協議会で、保育所などへの就園や小・中学校への就学に関するガイドラインと各種支援制度を分かりやすく整理した「医療的ケアが必要なお子さまと家族のための支援ガイドブック」を作成しました。

これからも、保護者の皆さまの不安や負担の軽減を図るとともに、保健・福祉・教育などの関係機関が連携し、継続した支援を行います。

【各相談先】

- 保育所などへの就園および各種手当てなどの手続きに関して
子ども未来課 ☎(32)1404
- 小・中学校への就学に関して
教育総務課 ☎(32)1907
- 福祉サービスに関して
社会福祉課 ☎(32)1387
- 医療的ケア児等コーディネーター
宇城圏域児童発達支援センター「いまここ」 ☎(27)7717

相談窓口

医療的ケアが必要な
お子さまと家族のための
支援ガイドブック

